

まつもと医療センター

1. 病院概要

- 院長 武井 洋一
- 研修実施責任者 福島 和広
- 病床数 総数：458床（一般：437床／重心：100床／結核：21床）
- 診療科目 内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、脳神経内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児科、皮膚科、救急科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科（院内対応）
- 研修の特徴 <豊富な内科系診療科>
内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、脳神経内科があり、中信地区の基幹病院としての役割を担っています。
プライマリケアに対する基本的知識と技能を広く実地に修得し、医師としての資質の向上を図り、医療における医師と患者の関係について理解を深め、地域医療に貢献することを目的としています。
また、多くの専門診療科の診療を間近で接することにより、専門医研修へ移行しやすくなります。
- 所在地 〒399-8701 長野県松本市村井町南2-20-30

2. 年間計画表

(例) 1年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科(消化器、循環器、血液、腎臓、脳神経、呼吸器、糖尿病・内分泌)等から2つ選択(24週)						外科(4週)	救急科(12週)			小児(4週)	選択(4週)

(例) 2年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	地域(4週)	精神(4週)	産婦(4週)	(選択)(8週)		救急科(6週)	選択(26週)					

※たすきがけ研修医については、信州大学の臨床研修の基本方針に従って本院での研修計画を立案します。

3. 必修科・選択科

内科	1年目に本院にて24週以上の研修を必修とする。2年目は希望により研修可能。 総合的な診療能力の養成を目標にして病棟診療チームの一員として希望する分野の指導医のもとで研修を行います。多彩な専門領域（消化器、循環器、血液、腎臓、脳神経、呼吸器、糖尿病・内分泌）から選択可能です。
外科	1年目または2年目に本院にて4週以上の研修可能。 基本的な外科手技を身につける 一般外科のほか、消化器外科コース、呼吸器外科コースを選択できます。希望があれば両方のコースも選択できます。主に助手として手術に参加し、common diseaseに対する基本的知識を習得し、診断・治療方針を立てられることを目標とします。アドバンスコースでは初級レベルの手術の術者も行います。
小児科	1年目または2年目に本院にて4週以上の研修可能。 救急から慢性期まで小児医療におけるプライマリケアの能力を習得 充実した指導体制のもと、一般外来や小児2次救急、急性期入院や慢性期入院など幅広く小児医療を研修できます。また、重症心身障害児の診療・ケアを学ぶことができ、院外研究会での発表機会も多いです。
産婦人科	1年目または2年目に4週以上の研修可能。 信州大学医学部附属病院産科婦人科、あるいは松本市立病院産婦人科にて研修を行う。

精神科	1年目または2年目に4週以上の研修可能。 医療法人芳州会村井病院にて研修を行う。
救急研修	1年目または2年目に本院の救急科で6週以上の研修可能。年間を通して月2～4回の救急外来当直も行う。 2次救急中心の研修 昼間は救急専門医に帯同して救急搬送患者の診療に当たります。また、夜間は内科系、外科系、小児科の3つの救急体制を敷いており、主に2次救急輪番日に担当指導医とともに、救急外来当直を行います。希望があれば、信州大学医学部附属病院での3次救急研修も可能です。
地域医療 研修	地域医療研修先病院・診療所 こまくさ野村クリニック、松岡小児科医院、あかはね内科・神経内科医院
一般外来 研修	地域医療研修中に並行研修。
麻酔科	本院での麻酔科研修の受け入れ可。 信州大学医学部医学教育研修センターと相談しながらスケジュールを調整します。
選択科	泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科、麻酔科、眼科、臨床検査科、整形外科

4. 処遇

身分	期間職員
勤務時間	8：30～16：30
給与	1年目 年額 6,300,000円（見込み）超勤、賞与含む 2年目 年額 6,500,000円（見込み）超勤、賞与含む
保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
健康管理	健康診断：年2回 その他（インフルエンザ予防接種）
外部の 研修活動	学会、研究会等への参加：可 学会、研究会等への参加費用支給の有無：有（条件あり）
宿舎	なし（準備中）